

台東区スポーツ振興基本計画 パブリックコメント実施結果

意見受付期間	令和4年12月16日（金）～令和5年1月6日（金）
意見受付場所	区公式ホームページ上での受付のほか、各区民事務所・分室・地区センター、区政情報コーナー、生涯学習センター、区内スポーツ施設、スポーツ振興課窓口で受付。
意見受付件数	11人、23件
提出方法の内訳	郵送 1人（1件） ファクシミリ 1人（5件） ホームページ 8人（12件） 持参 1人（5件）

分類	項番	意見	区の考え方 (該当する施策)
基本目標1	1	小中学校での体育の授業は完全に生徒たちのマスクを外してほしい。室外でマスクをつけても、つけていなくても感染率はあまりかわらないと思います。マスクをつけたり外したりと、とても面倒だと思います。	区立小・中学校における体育科の学習においては、「台東区立学校園版感染症予防ガイドライン（新型コロナウイルス感染症）第5版」に基づき、マスクの着用は必要ないとしています。ただし、感染リスクを軽減する観点から、授業前後における着替えや片付けなど、運動を行っていない際は、可能な限りマスクを着用することとしています。 (施策1 子供の体力向上)
基本目標1	2	連合運動会は種目が陸上競技のみに絞られ、早朝の寒い中での練習であるのに加え、団体では行わないため、そこから運動に興味を持つ人は少ない。よって、縄跳びや球技など室内でも練習でき、団体に協力しながら行える競技を増やすことが良いと考えた。また、競技の個数を増やすことで場所を分散させ、全員が大会に参加できる。中学生は選抜された人しか参加できないため、スポーツに対して興味がある人とならない人の差が広がる可能性が高いという問題も解決できると考えられる。	小学校連合運動会の競技種目の追加や中学校連合陸上競技大会の全員参加については、会場の確保や競技時間の調整等の大会運営上の課題があります。今後もよりよい大会運営に向けて努めてまいります。 (施策1 子供の体力向上)

分類	項番	意見	区の方考え方 (該当する施策)
基本目標1	3	学校での体育の授業では、どうしても得意な人と苦手な人で差がついてしまう。よって、苦手な人は成長をあまり感じるできないという問題点がある。現在は、一人ひとりにタブレットが配布されている。それをを用いて、授業や単元の前後で動画や写真を撮り、苦手な人でも成長を実感できるようにする工夫が必要であると考えた。	区立小・中学校では、体育の授業でもICT機器等を活用しており、引き続きICTの活用を推進してまいります。 (施策1 子供の体力向上)
基本目標1	4	幼児教室は比較的活発に行われているものの、その流れが小中学校に引き継がれていないと感じます。学校単位でも区や地域の色々なスポーツイベントへ参加してもらい、スポーツ活動を学校行事としても推進してもらいたいです。	本計画では、子供の体力向上を重点施策と位置付けていることから、小・中学生を対象とした事業の充実も図るとともに、学校を通じて区が主催するスポーツイベント等への参加を促す等、児童・生徒の体力やスポーツの実施頻度が向上するよう取り組んでまいります。 (施策1 子供の体力向上)
基本目標1	5	働き盛り、子育て世代のスポーツするきっかけについては、SNSを活用して、時間帯を融通したり親子プログラムを提供することで参加してもらえればと考えます。	働き盛り、子育て世代が、気軽にスポーツに親しむことができるよう、区民ニーズを把握し、ニュースポーツや親子が参加できるスポーツ事業等を実施します。また、より多くの方に参加いただけるよう、SNSを活用した情報発信等に取り組んでまいります。 (施策3 働き盛り・子育て世代への支援)

分類	項番	意見	区の方考え方 (該当する施策)
基本目標 1	6	<p>台東区民のために多くの体を動かす企画を考えたり、障害者でも楽しめたり、コミュニケーションの場となるようなものはとても素敵だと思いました。しかしそのうえで私がこのような企画があると知った時、参加したいと思うかどうか考えると、あまり積極的に参加しようとは思わないのではないかと思います。中学生の視点として理由を説明させていただきます。まず一つ目は、一人だけではこのような場に参加しにくいと考えたからです。もっと大勢で協力したり、より遊び感があれば友人やクラスメイトを誘いやすいですし、体育の授業内でももっと楽しめるだろうし、スポーツに関心を持ったり学校外でももっと体を動かしたいと思えると思いました。二つ目の理由としては外出をしたくないという根本的な解決になっていないのではないかと思います。もちろん体育の授業では必然的に体を動かすことになると思いますが長期休みであったり、社会人の場合も同様です。私はとにかく家から出たくなくこういった運動をしたいなと思って着替えるのが面倒だったりして、素敵な企画があっても参加はしないと思いました。だからこそ私は考え方を改めて、家の中の運動も推奨していくのもいいのではないかと考えました。私は先日エア縄跳びを購入しました。持ち手の部分のみで縄がついていないので部屋を荒らすこともなく、その場でジャンプするだけなので特別な技術も必要ありません。ジャンプをしながら持ち手を回すと回数が記録されるので、結果が目に見えて楽しくなります。私は毎朝、朝ドラを見る15分間は必ずするようにしてから体の調子がとてもよくて、学校生活も楽しくなりました。朝にやるからこそ一日気持ちよく過ごせますが、こういった簡単なもので隙間時間を活用できるものでないと、忙しい朝には難しいと思います。このような運動グッズを学生や社会人に配布すれば、皆の運動への意欲も高まるのではないかと思います。お金がかかるのであれば、家で運動を一緒にする動画を配信したりするのもどうでしょうか。</p>	<p>スポーツ事業のうち申込不要なイベント等は、友人や家族と一緒に参加いただくことができます。</p> <p>また、区では新しい生活様式を実践するため、自宅等にいながら参加できるオンラインスポーツ教室を実施しています。</p> <p>区民ニーズを把握しながら、自宅等でも継続して運動できる魅力のあるスポーツ事業に取り組んでまいります。</p> <p>(施策4 身近なスポーツ環境づくり)</p>

分類	項番	意見	区の考え方 (該当する施策)
基本目標1	7	ここ3年間におけるコロナ感染拡大の影響で、私たちの行動はずいぶん変化しました。実際、自分の周りでも今までやっていたスポーツからも遠ざかっていく人たちも多いです。にもかかわらず、実施率が上昇しているのは、やはり在宅等で体力不足を懸念する人たちも多く感染予防を意識して、個々に活動しているのではとも思われます。今後、スポーツに関心を持って活動を希望している人たちに対しては、感染予防対策を徹底して集い、さらには、全庁的にオンラインでの発信も必要となるのではないのでしょうか。	区では、「台東区新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」に基づき、事業を実施しています。万全な感染防止対策を講じたうえでスポーツイベント等を実施するとともに、より多くの方にご参加いただけるよう、SNS等を活用した情報発信にも取り組んでまいります。 (施策4 身近なスポーツ環境づくり)
基本目標1	8	感染症流行時のスポーツのあり方が検討されていない。流行時においても、免疫力の向上、認知症予防の観点から台東区は積極的にスポーツ事業を推進すべき。	区では、新しい生活様式を実践するため、オンラインを活用したスポーツ教室等を実施しています。今後も「台東区新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」に基づき、感染症対策を徹底しながらスポーツ事業を推進してまいります。 (施策4 身近なスポーツ環境づくり)
基本目標1	9	スポーツボランティアで登録してもらっている人たちには、定期的な研修と中長期的なスケジュールを示し活動場所を選択してもらってはどうか	区では、スポーツボランティアに登録いただいている方々に、イベント毎に情報を提供し、ボランティアとして参加いただいています。また、スポーツボランティアの方々には、スポーツイベント等で実際に活動していただき、ボランティアとしての役割を学んでいただいています。より多くの方に気軽にボランティアとして参加していただけるよう、情報を発信していくとともに、ボランティアとして活躍できる機会を提供してまいります。 (施策5 スポーツを支えあうひとのつながり)

分類	項番	意見	区の方考え方 (該当する施策)
基本目標1	10	スポーツに関するイベント等の情報発信が弱いように感じる。町内会の掲示板や回覧等、もう少し楽に活用できると思う。町内会にスポーツの担当者等のポストがあると情報発信もしやすい様に思う。	<p>区のスポーツイベント等の実施にあたっては、広報たいとうや区公式ホームページへの掲載の他、イベント内容に応じて区内小・中学校へのチラシ配布、町会回覧や町会掲示板への掲示を行っています。</p> <p>SNSの活用等、より効果的な情報発信に取り組んでまいります。</p> <p>町会内の担当者の設置については、各町会の判断になります。地域のスポーツコーディネーターであるスポーツ推進委員と連携し、情報発信を図ってまいります。</p> <p>(施策6 スポーツに関する講座の開催・情報発信)</p>
基本目標1	11	今回、「台東区スポーツ振興基本計画」中間のまとめを確認して、実にさまざまな事業を展開しているわけですので、必要な人に必要な情報を届けることが大変重要だと感じました。	<p>区のスポーツイベント等の実施にあたっては、広報たいとうや区公式ホームページへの掲載の他、イベント内容に応じて区内小・中学校へのチラシ配布、町会回覧や町会掲示板への掲示を行っています。</p> <p>SNSの活用等、より効果的な情報発信に取り組んでまいります。</p> <p>(施策6 スポーツに関する講座の開催・情報発信)</p>
基本目標2	12	清島プールを使いたいと思いますが、自宅から少し遠くてなかなか使えません。めぐりんバスのバス停に「清島プール」停留所があれば使いやすいと思います。	<p>清島温水プール付近にめぐりんの停留所を設置するにはルート変更が必要となりますが、平成30年からの実証実験を経て、令和4年7月より正式運行となっていることから、現行ルートの変更は、当面予定はございません。めぐりんの運行の見直しについては、引き続き区民ニーズ等の集約に努めるとともに、社会状況の変化や都市基盤整備の状況を踏まえ、検討してまいります。</p> <p>(施策3 快適に利用できるスポーツ施設の運営)</p>

分類	項番	意見	区の考え方 (該当する施策)
基本目標2	13	スポーツ施設の満足度が低く感じます。スポーツ実施率向上のためにはもっと多く区民の方に施設を利用していただき、スポーツを楽しんでもらう。そのためにも施設、付帯設備の充実は大切ではないでしょうか。台東区には限られた施設しかありませんが、一般の方以上に障がい者の方にも気軽に利用していただける設備（障がい者スポーツのコートなどが常設）があればいいと思います。また付帯設備が足りておらず、区民大会開催時においては参加者に不便が生じている場合もあります。	区では、より多くの方にスポーツを楽しんでいただけるよう、スポーツ施設の無料開放や一般開放を実施しています。また、障害のある方が安心してスポーツ施設をご利用いただけるよう、バリアフリーやユニバーサルデザインの推進に取り組んでいます。付帯設備につきましても、利用状況やニーズを把握し、誰もが安全・快適にご利用いただけるよう、施設の運営に取り組んでまいります。 (施策3 快適に利用できるスポーツ施設の運営)
基本目標2	14	ボールを蹴れる室内施設を増やしてほしい。	スポーツ屋内施設でのサッカーやフットサル等の競技については、設備への影響や安全性の観点から、現在一部の施設のみ実施を可能としています。今後、施設設備や利用状況等を踏まえ、利用可能施設の拡充について検討してまいります。 (施策3 快適に利用できるスポーツ施設の運営)
基本目標2	15	生活保護受給者を除き、施設に対する対価はしっかり徴収して施設の維持管理を行うべき。	区立スポーツ施設の利用にあたっては、条例等に基づいた使用料をお支払いいただいております。使用料については3年毎に見直しを実施しているところです。 今後も、区民が安全・快適にご利用していただけるよう、スポーツ施設を運営してまいります。 (施策3 快適に利用できるスポーツ施設の運営)
基本目標2	16	学習センター3階のトレーニングルームでは、使用されていないバイクが多数ある。利用者の利用が多い機器に交換するべき。	トレーニング機器の入れ替えについては、利用状況やニーズを把握し、適宜対応してまいります。 (施策3 快適に利用できるスポーツ施設の運営)

分類	項番	意見	区の考え方 (該当する施策)
基本目標2	17	<p>スポーツ庁の行う新体力テストでは、ボール投げという種目があるが、台東区は全体を通して数値が全国を下回っている。これは、安全のためボールの使用できない公園が多く、ボールを投げる機会があまりないためだと考えられる。東盛公園では、ボール使用可能エリアはネットで囲まれており、沢山の子どもたちがボールを用いて遊んでいる。ネットであれば時間等に合わせてスペースの使い道を決められるため、このような公園を増やすことは、ボール投げの記録が伸びるとともに、元々利用していた人々もそれまでと同じように使用することができる考えた。</p>	<p>公園内でのボール遊びについては、利用者の安全を確保するため、柔らかいボールで遊ぶ場合を除き、スポーツコーナーをご利用いただいています。スポーツコーナーは、東盛公園を含む区内7公園で設置されています。その増設については、公園面積などの条件を考慮するとともに、利用実態調査の結果等も踏まえ、区内の公園全体のバランスに配慮しながら検討してまいります。区内スポーツ施設では、在住・在学の子供たちが、球技等のスポーツをする場所として、無料開放日を設けて屋外グラウンドを開放しています。</p> <p>(施策4 身近な運動場所の確保)</p>
基本目標2	18	<p>スポーツ施設は予約が必要だったりするので気軽に好きな時間に行くことができません。近所の公園も、球技をすると警察に怒られたり、幼児が接近して危険だったり、老人に邪魔だと怒鳴られたりし、満身に球技が行えない状況であります。それが日常におけるスポーツ活動を妨げていることをよく理解していただきたいです。そこで、公園に全面柵やネットで囲われたスポーツ専用スペースのある公園の増設をお願いします。スポーツ専用スペースがある公園は少なく、混雑しています。だれも住んでない空き家を壊すなどしてスペース確保したり、今ある公園に防球ネットを張ってほしいです。老人が多く、その政策が大切なのはわかりますが未成年のための政策もお願いします。</p>	<p>公園内でキャッチボール等のボールの使用ができるスポーツコーナーの増設については、公園面積などの条件を考慮するとともに、利用実態調査の結果等も踏まえ、区内の公園全体のバランスに配慮しながら検討してまいります。区内スポーツ施設では、在住・在学の子供たちが、球技等のスポーツをする場所として、無料開放日を設けて屋外グラウンドを開放しています。他の区有施設につきましても、有効活用を検討してまいります。</p> <p>(施策4 身近な運動場所の確保)</p>

分類	項番	意見	区の方考え方 (該当する施策)
基本目標2	19	<p>区立公遊園の球技スペースが、とりわけ区内南部地域に不足しているために、新規設置をしてほしい。いつでも好きなときに球技ができるスペースは、球技をしたい青少年のみならず、球技をやらない乳幼児や高齢者の安全確保のためにも不可欠である。また区議会で趣旨採択となった小島公園のフェンスの件についても、進めてもらいたい。</p>	<p>公園内でキャッチボール等のボールの使用ができるスポーツコーナーの設置については、公園面積などの条件を考慮するとともに、利用実態調査の結果等も踏まえ、区内の公園全体のバランスに配慮しながら、南部地域への導入を検討してまいります。</p> <p>なお、区内スポーツ施設では、在住・在学の子供たちが、球技等のスポーツをする場所として、無料開放日を設けて屋外グラウンドを開放しており、令和4年9月からは新たに柳北スポーツプラザにおいても実施しています。</p> <p>小島公園におけるスポーツコーナーの整備については、園内での適切な配置を検討することを前提に、地域の皆様から一定のご理解もいただいていることから、引き続き検討を進めてまいります。</p> <p>(施策4 身近な運動場所の確保)</p>

分類	項番	意見	区の方考え方 (該当する施策)
基本目標2	20	<p>スポーツ施設の設備を最優先に行うべきだと思った。施設を作りスポーツと触れ合い、体験することを第一に考えるべきと思った。何もない状況ではみんながやりたいと思っているスポーツはほとんどできないし、形がないと私たちはスポーツをやろうとも思わない。運動してくださいと言っただけでは、誰もやろうとはおもはない。ある程度の環境が必要。だから、スポーツ施設の設備を最優先にするべきだと思う。そうすれば台東区内の課題である「スポーツの実施率の向上」にもつながり、実施率が上がれば体力向上やスポーツへの関心、きっかけづくりにもつながっていき、台東区の目指す形になると思った。W杯、MLB、NBAなど日本人選手が海外で活躍しており幅広い年代を通してサッカー、野球、バスケ、などを気軽にやりたいと思っている人が多いと感じた。いわゆる軽い球技。でも、そこら辺の道路でやろうと思っても危ないからできないし、そういうできるところが少ない。なので、スポーツ施設の設備を最優先に行うべきだと思います。具体的な例 バスケ バスケゴールの設置増加 サッカー サッカーゴールの設置、人工芝の設置、野球 ガチではなく、気軽に野球ができる場所の設置、ネットで囲まれた公園など</p>	<p>区民が気軽にスポーツができる環境を整備することは、スポーツ実施率の向上に大きく寄与するものと認識しています。</p> <p>区内スポーツ施設では、区民が気軽にスポーツに取り組めるよう、無料開放や一般開放事業を行っています。</p> <p>学校施設や公園等のスポーツ施設以外の既存施設も活用しながら、スポーツができる環境の整備に努めてまいります。</p> <p>(施策4 身近な運動場所の確保)</p>

分類	項番	意見	区の考え方 (該当する施策)
基本目標3	21	<p>東京オリンピック・パラリンピックを終え、スポーツを取り巻く環境が変わる中で台東区内でも変化している状態を肌で感じております。「台東区スポーツ振興基本計画 中間のまとめ」の資料を拝見させて頂くと、『週1回以上のスポーツの実施率』が66.7%となり、目標数値には届いていないものの順調に上昇がみられ区民の健康維持やスポーツの重要性の理解が進んでいるように思えます。東京オリンピック開催の影響も多分にあると考えています。しかしながら、同資料によると、区民の『障害者スポーツへの関心の割合』が前回調査より8.1ポイント減っていることや、障害者の『週1回以上のスポーツ実施率』が、前回調査より6.2ポイント減っているなど、障害者がスポーツをする環境が好ましくない環境に向かっていると危惧しています。また、障害者の『週1回以上のスポーツ実施率』の詳細を見ると、週1回以上のスポーツを実施した障がい者でも、主たるスポーツは「一人で気軽に出来る種目」が上位を占めている状況です。東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、パラリンピックスポーツも注目された結果、区民の方々が興味関心を持ち、気軽に触れることのできる環境にあった事は確かです。その結果、パラスポーツを経験した区民は増えていることは数値としても現れています。ただ、東京オリンピック・パラリンピックを終えた今となつては、経験できる場は確保されつつも、区民の興味関心は薄れている状況かと思えます。また、障害者のスポーツ実施率も</p>	<p>区では、障害者スポーツの普及・促進を重点施策として位置付けており、多くの区民に関心を持っていただくためには、より一層の推進が必要であると認識しています。障害のある方が気軽に参加できる環境を整備するとともに、障害の有無にかかわらず誰もが親しむことができる障害者スポーツの魅力を広く発信し、障害のある方とない方がスポーツを通して交流できる機会を提供する等、共生社会の実現に取り組んでまいります。</p> <p>(施策3 障害者スポーツを通じた相互理解)</p>

分類	項番	意見	区の考え方 (該当する施策)
		<p>51.5%となり、国の示す目標値よりも上回っているものの、上記と同じ理由で今後減っていく傾向にあるのではないかと考えています。東京オリンピック・パラリンピックの気運で盛り上がったパラスポーツではあるものの、しっかりとレガシーとして残していくためには、障害者スポーツへの興味関心を落とさない取り組みが必要であるのではないのでしょうか。もちろん、継続して障害者のためのスポーツイベントも重要ですし、パラリンピアンと共にパラスポーツを体験することも必要かと思えます。またそれと同時に、区内でのスポーツイベントに、在住や在勤の障害者がもっと気軽に参加できる配慮も必要かと思えます。どうしても、健常者向けのイベントであると障害者が参加できないコンテンツや、そもそもハード面で参加できないイベントも多々あるのが現状かと思えます。健常者と同一の体験が出来なくても、DX技術を用いたバーチャルな体験や視覚障がい者向けの音声ガイドのサービスなどを各イベントで用意し、その場に、障害をお持ちの方が、「参加したい」「楽しそう」と思える、スポーツイベントの実施を検討いただければと思います。一般のイベントに障がい者が参加することで、区民の障害者に対する見え方も変わる事や、障害者自身も社会参加するきっかけや、ひいてはスポーツの参加率の向上につながるきっかけになるのではないのでしょうか。「スポーツの祭典」などの一般のスポーツイベントの各コンテンツに障がい者が気軽に参加できるような仕掛けが必要かと思っております。</p>	

分類	項番	意見	区の方考え方 (該当する施策)
その他	22	スポーツの定義や内容について、地域の催し物への参加やお祭り等の行事を含めるべき。十分な体力維持につながる。	スポーツの定義は、あらゆる身体活動を含んでいることから、地域の催し物やお祭り等に参加し、体を動かすことも運動と解釈できますが、主たる目的はスポーツと異なるものと考えています。
その他	23	花の心の事業についても、地域住民が種から育て、維持管理すれば、住民の体力向上につながる。業者任せにするべきではない。	区立公園や区道に設置している花壇等は、委託業者による管理を行っております。その中で、区民が自主的に花壇の草花を育成する活動への支援として、花の心フラワーサポーターを実施しており、水やりなどの日常的な維持管理を行っていただいています。 また、町会などが公園の花壇の一部を管理する「自主管理花壇」も設置しています。 区民には、活動する中で体を動かすことにより、体力向上につなげていただきたいと考えております。